

令和 6 年 8 月 19 日

養鶏関係の皆様へ

第 32 回 ゲン養鶏スクールの開催のご案内

拝啓 皆様ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび第 32 回ゲン養鶏スクールを別紙 1 の要領にて、開催することとなりましたのでご案内申し上げます。このゲン養鶏スクールは、次世代を担う養鶏家の方々に多数受講していただき、大変ご好評をいただいております。貴社の若手職員等、このスクールに関心をお持ちの方々のご参加をお待ちいたしております。

なお、準備の都合上、受講をご希望される方は、弊社ホームページより「ゲン養鶏スクール申込」(8 月 27 日 AM10:00 に掲載予定)の入力フォームにアクセスしていただき、必要事項を入力し申し込みのほどお願いいたします。なお申込期限は令和 6 年 9 月 6 日(金)とさせていただきます。ただし、定員に達し次第、受付を終了する場合がございますのでご了承願います。また受講受領については、締め切り日から 2 週間以内にメールにて返信させていただきますので、連絡がない場合には、お問い合わせのほどお願いします。

また、国内の状況に応じ、ゲン養鶏スクールを延期、または中止することがありますので予めご承知願います。

敬具

ゲン養鶏スクールの開催に当たって

— 原初を大切に —

ゲン養鶏スクールは、ゲン・コーポレーションの創業者 所秀雄氏の以下の理念に基づいて開催しています。

新しいフロンティア

近年「量より質の時代」ということがよくいわれます。日本の畜産業、とくにニワトリ産業は大分前から成長・拡大の時期は過ぎ、今や成熟の時期に入っていると認められますから、「量より質」ということは実感をもって訴えるものがあります。つまり、成熟ということは何もすることがなくなった、フロンティア(新境地)は消滅した、という意味ではなくて、「質」の分野で多くの事がなされなければならない、そこに新しいフロンティアがあるということです。

ゲン養鶏スクールは、まさにそういうフロンティアに挑戦しようとする人に勉強と交流の場を提供するものです。われわれの産業で質的なフロンティア開拓とは、おそらく、日本型畜産、しかも国際的に通用するものを構築するということでしょう。そのためには 2 つのことが我々の姿勢として要求されます。

原初を大切に

1つは、原初を大切にすることです。原初というのは、原理的なことと初歩的なことの2つを含んでいます。とかく、ひとはこの2つを忘れて砂上に楼閣を築く愚をくり返しがちなものです。また、原理的なことや初歩的なことを軽く見る傾向もなくはありません。農場の生産現場において担当者が変わるにつれ、知らない間にこの原初が軽視されていく実例をみかけます。基本的な技術を大切に、原初を想起し、新フロンティアの開拓に備えたいものです。

時代の進歩に活眼

もう1つは、原初を忘れないことに加えて、絶えず進歩し変化する新しい技術、新しい経営手法、新しい消費者需要、新しい情報に注意を向け、上手にこれを取り入れるということです。ここ40年間我々の産業は、アメリカをはじめ畜産の先進国から多くのことを学び、応用してきました。日本型畜産といっても一人よがりではお話になりません。世界に通用し、国際的に競争力のあるものでなくてはなりません。これからは、技術も情報も国際的であり一層開かれた産業である必要があります。そして、将来予想される日本の条件にふさわしい畜産を築いていくことです。なかでも消費者あるいは実需者とどのように結ぶかが課題となるにちがいません。

担い手

どんな事業も人がつくり、人が支えます。日本の畜産も農業も人の知恵と汗がなくては築かれるものではありません。これからは、経営者だけでなく、次の世代を担う後継者、現場の担当者が真剣に生きた勉強をしなければならなくなっています。日本の畜産や農業を担う人がそこから育てることが期待されます。

ゲン養鶏スクールは、若い担い手に対し自己啓発と相互交流の機会を提供いたします。このような機会は1回や2回で足りるものではありません。このゲン養鶏スクールは、過去に31回開催され、すでにのべ2,000人以上の方々が受講され、それぞれの組織の中で中堅、中核としてご活躍されています。多くの方々からのご要望もあり、今年もゲン養鶏スクールを開催することになりました。「くりかえし」こそが「人作り」の鍵であるにちがいません。学習しては実践し、実践しては学習する、その繰り返しによってはじめて知識が活かされる、知識が見識となり達識となる、といわねばなりません。

ゲン養鶏スクールが参加される方々に大いに役立つことを心から願っています。

(別紙 1)

第 32 回 ゲン養鶏スクール開催要領

参加資格 採卵養鶏の基礎および応用を学習します。学習意欲のある養鶏関係者を対象とします。
原則として業務経験者に限ります。入社前の方はご遠慮ください。

開催期日 令和 6 年 10 月 29 日(火) ～ 10 月 31 日(木) 2 泊 3 日
開催場所 岐阜グランドホテル : 岐阜市長良 648 (TEL:058-233-1111)

募集人員 72 名(定員になり次第、締め切らせて頂きます)
申込が多い場合、可能な限り多くの会社の方に受講していただきたいため、一社(グループ会社含む)から 2 名までとさせていただきますのでご了承ください。

申込方法 弊社ホームページのトップページ NEWS(お知らせ)から「ゲン養鶏スクールの申込」にアクセスいただき(8 月 27 日 AM10:00 に掲載予定)、必要事項を記入後、Web 経由で申し込んでいただきます。
お申し込み開始は令和 6 年 8 月 27 日 AM10:00 から
お申し込み締め切りは令和 6 年 9 月 6 日まで
受講受領については、締め切り日から 2 週間以内にメールにて返信させていただきますので、連絡がない場合には、お問い合わせのほどお願いします。

研修プログラムおよび講師
別紙 2 のとおり(ただし、講師の都合等で変更する場合があります)

参加費用 160,000 円(税込み。振込手数料はご負担のほどお願いします)
(2 日間の宿泊代、2 回の朝食、昼食、夕食、および資料代などを含む)
※ 宿泊のお部屋は複数人の相部屋となります。

振込は事務局からの受講受領の連絡の際にご連絡いたします。

問合せ先 〒501-1132 岐阜市折立 296-1 株式会社ゲン・コーポレーション
ゲン養鶏スクール事務局 担当: 後藤 まで
TEL:058-234-0666 FAX:058-234-0892 Email:y-goto@ghen.co.jp

資料他 当日、会場にてテキストなどを配布いたします。その他解剖セットが含まれます。
また、解剖実習時は白衣をご用意いたします。

第 32 回 ゲン養鶏スクール

期 日 : 令和 6 年 10 月 29 日(火)・30 日(水)・31 日(木)

会 場 : 岐阜グランドホテル

受 付 : 令和 6 年 10 月 29 日(火) 12:15～12:50

プログラムと日程

第 1 日目 - 10 月 29 日(火)

12:55～13:10	開校式(15 分)	
13:15～14:25	鶏の生態(70 分)	
	弊社技術情報部門	後藤 裕司
14:40～16:00	養鶏・鶏卵市場について(80 分)	
	JA 全農たまご株式会社 東日本営業本部	寺本 直人
16:10～18:10	採卵鶏管理のポイント(120 分)	
	弊社営業部門	広瀬 毅
19:00～	ウェルカムパーティー	

第 2 日目 - 10 月 30 日(水)

8:00～ 8:25	レビュー	
8:30～10:00	鶏病と衛生管理(90 分)	
	ワクチノーバ株式会社	鈴木 尋
10:15～11:55	鶏卵の知識(100 分)	
	京都女子大学 地域連携研究センター	
	株式会社エヌ・ビー・エル 鶏と卵の研究所	八田 一
13:00～14:30	ワクチンの種類と特徴(90 分)	
	ワクチノーバ株式会社	山田 恵
15:25～15:45	(バスにて別会場に移動)	
15:45～17:45	解剖実習・正しい検査サンプルの採取方法	
	弊社生産部門	橘 亮介
17:45～18:05	(バスにて岐阜グランドホテルに移動)	
18:40～18:55	記念撮影	
19:00～	懇親会	

第 3 日目 - 10 月 31 日(木)

8:00～ 8:25	レビュー	
8:30～10:30	飼料と栄養(120 分)	
	中部飼料株式会社	池端 佑仁
10:40～12:10	農場管理(経営)の実際(90 分)	
	株式会社オリエンタルファーム	高野 信夫
12:10～12:20	修了式(10 分)	
12:20～	昼食後、解散	